

## ●がん登録（がん登録部会）

めざす姿	<p>■<b>最終目標</b> がん患者ががん登録データを活用した質の高いがん医療を受けることができる。</p> <p>■<b>中間目標</b> 医療従事者等が精度が向上したがん登録データを有効活用できる体制整備が進んでいる。</p>
個別施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん登録の精度向上</li> <li>がん登録データ等を活用したがん対策の検討・実施</li> <li>データを活用した情報提供等</li> </ul>
令和元年度 取組	<p>令和元年6月20日</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ならのがん医療見える化推進事業</li> <li>がん登録推進事業             <ol style="list-style-type: none"> <li>がん登録担当者研修会の開催（10/27実施）</li> <li>「奈良県のがん登録2016年」報告書作成、公表</li> </ol> </li> <li>がん診療連携協議会の取組</li> </ol>
令和2年度 計画（案）	<ol style="list-style-type: none"> <li>ならのがん医療見える化推進事業</li> <li>がん登録推進事業             <ol style="list-style-type: none"> <li>がん登録担当者研修会の開催</li> <li>「奈良県のがん登録2017年」報告書作成、公表</li> </ol> </li> <li>がん診療連携協議会の取組</li> </ol>

■ 基準値と比較して改善していない  
■ 基準値と比較して改善している

### 4. がん登録

分野	分野別目標 目標	指標	現状値 (基準値)	H30年度	R元年度	目標値	出典
最終目標	医療の質が向上している	5年相対生存率	-	60.3% (H23)	調査中 (H24)	増加 (H25以降)	がん登録(奈良県)
中間目標	がん登録データの精度が向上し、データを有効活用している	DNV死亡情報で初めて把握された症例 (H28～名称変更:ICJ) DCO死亡情報のみ症例 M比:死亡:罹患比	9.6% 6.3% 0.41 (H25)	6.0% 3.9% 0.37 (H27)	4.8% 3.2% 0.37 (H28)	減少	がん登録(奈良県)
中間目標	地域でがん登録データが活用しやすい体制ができている	がん登録の認知度	14.4% (H29)	-	-	増加	ならのがんに関する患者意識調査
中間目標	県民が、全国がん登録について正しい理解がもたれている	がん登録の認知度	31.7% (H29)	-	-	減少	ならのがんに関する患者意識調査
中間目標	がん登録の精度向上	がん登録データ等の申請可能な医療機関数	44医療機関 (H29.10)	58医療機関 (H30.12)	60医療機関 (R2.2)	増加	奈良県調べ
中間目標	がん登録データの活用ががん対策の検討・実施	研修参加医療機関数	35医療機関 44人 (H29年度)	22医療機関 29人 (H30)	28医療機関 42名 (R1)	増加	奈良県調べ
中間目標	がん登録データの活用ががん対策の検討・実施	各種分析及び評価の結果の公表	-	県民への公表 (H30)	報告書公表予定 (R1)	3年以内に段階的に公表	-
中間目標	がん登録データの活用ががん対策の検討・実施	検討結果を公表	-	県民への公表 (H30)	報告書公表予定 (R1)	2年以内に公表	-
中間目標	がん登録データの活用ががん対策の検討・実施	審議会の開催回数	-	1回 (H30)	2回 (R1)	実施	奈良県調べ
中間目標	がん登録データの活用ががん対策の検討・実施	検討結果の公表	-	調査で公表 (H30)	がんネットから公表予定 (H30)	2年以内に公表	-
中間目標	データを活用した情報提供等	「がんネットなら」ページビュー数	69,241件 (H28)	60,721件 (H29)	調査中	増加	奈良県調べ
中間目標	データを活用した情報提供等	チラシ配布数	-	-	がんネットならチラシ作成	増加	奈良県調べ

### 第3期奈良県がん対策推進計画 目標の進捗状況について

## ■がん登録担当者研修会

- 目的  
平成31年1月から「がん登録情報の提供」が開始されることに伴い、制度の理解を深めることで積極的なデータの利活用が期待されている。全国がん登録担当者を対象に、全国がん登録の現状、制度の概要、がん登録情報の利活用などの実務的な研修会を実施することで、全国がん登録の精度向上、データの利活用によるがん研究及びがん対策のさらなる進展を目指す。

- 対象者  
県内病院及び全国がん登録指定診療所の担当者 等

### ●内容

日時・場所	内容・講師	参加者
平成元年10月27日（日） 13：30～17：00 奈良県立医科大学 基礎医学棟第2講義室	報告「全国がん登録のデータ入力について」 奈良県福祉医療部医療政策局疾病対策課 浦野 知子 報告「がん登録情報の提供の流れについて」 奈良県福祉医療部医療政策局疾病対策課 石田 岳之 第1部 講演「全国がん登録情報の効果的な活用について」 国立がん研究センターがん対策情報センター がん登録センター全国がん登録室 室長 松田 智大氏 第2部 講演「乳がんについて」 奈良県立医科大学附属病院 乳腺センター 准教授 平尾 貝子 氏	42名 (29機関)

### ●概要

- 平成28年1月から全国がん登録のデータ収集が始まったが、患者の個人情報を扱うため、安全管理措置についての注意喚起と、届出データの精度向上に向けて、よくある間違いについて説明し、注意喚起を行った。
- 平成31年1月から全国がん登録（2016年症例）のデータ提供が開始されたことに伴い、奈良県におけるデータ利用の流れや手続き方法について説明。
- 国立がん研究センターの松田先生からは、がん登録情報のがん対策での活用方法や病院での利用方法について説明し、今後のデータの利活用に向けての周知・啓発の機会となった。
- 参加者アンケートの結果では、80%以上が「参考になった」と回答していた。
- 自由記載欄では、「情報の活用方法が知れて良かった」「がん登録と他の情報との共有・分析は勉強になった」など、がん登録データの利活用に向けての周知ができたと考える。また、「症例などを用いて入力項目の選択方法も教えて欲しい」など、具体的な入力方法についての要望もあり、次年度の研修会の企画の参考となった。

### ●研修アンケートまとめ

